



発行責任者
特定非営利活動法人
相模原市障害児者福祉団体連絡協議会
会長 鈴木秀美
相模原市中央区富士見6-1-20 (あじさい会館内)
TEL & FAX 042-755-5282 (直通)
題字「わ」 相模原市長 本村賢太郎

さーくる 障害理解 検索

《れんきょうの防災対策への取り組み》

要援護者（障がい者、高齢者、乳幼児他）への防災対策の経緯

2004年に新潟県中越地方で発生した地震の直後に第1回を実施して以来、数回の講演会を開催。その関連から、相模原市障害福祉課（当時）地域福祉課・危機管理課等と一緒に計29回の防災勉強会を開催し（平成25年5月まで）、その集大成として、防災パンフレット（当事者向け、一般向けの2種類）を作成、多方面に配布してきました。

又、相模原市の防災のしおりの作成に携わる等を実施し、常に要援護者の立場を代弁し、取り組んできました。

相模原市の風水害への取り組みについて

従来れんきょうとしては、震災のみをテーマとしてきましたが、近年、相模原市でも風水害被害が表面化し、相模原市としての風水害に対する取り組みについてお伝えしたいと思います。

「洪水ハザードマップ」「土砂災害ハザードマップ」「浸水（内水）ハザードマップ」が作成されており、マップ上、この災害の対象となる、市内の各世帯には既に配布されています。その他の方で入手したい方は、相模原市のホームページでダウンロードすることが出来ます。数量にはありますが、各区役所やお近くのまちづくりセンターにも置いてあるそうです。

今年の9月から風水害時避難場所が追加指定されましたので、ハザードマップに掲載されていない風水害時避難場所は、各自ホームページなどで確認してください。

なお、災害時に風水害時避難場所が開設された場合は、市から情報が発信されるので注意してください。

防災対策に対する心構え

震災・風水害他どの災害にしても同じ対処が必要です。持ち出し品の準備（新型コロナウイルス対策の為の消毒薬やマスク等が更に追加されます）、相模原市への災害時要援護者登録、日頃の近隣とのつながりを持つ事、避難所の確認（道筋を体験しておく等）等々で、自助、共助、公助が基本となります。

特に水害への要援護者の方々の対処としましては、対象地区に「避難準備・高齢者等避難開始」が発令された時に避難を開始されることが事故回避につながります。

以上の災害対策等への問い合わせは、通常時は、3区の区役所・相模原市危機管理課又は、相模原市コールセンターへ（緊急時は繋がりません）



《令和2年度福祉施策懇談会及び福祉施策アンケート実施について》

基本事項

- ① 福祉施策アンケートについては、新型コロナウイルス感染禍状況に係わらず実施します。
- ② 福祉施策懇談会については、新型コロナウイルス感染禍状況によっては中止する場合があります。

1. 令和2年度福祉施策懇談会

- 1) 日 時 令和3年2月7日（日）10時～12時
- 2) 場 所 ウェルネスさがみはら7F 視聴覚室
- 3) 内 容 障がい児者福祉施策に関して懇談
- 4) 出席者 **【市側】**
本村市長、河崎健康福祉局長以下関係部課長（予定）
本村市長には、昨年同様にご出席を要請しています。
【当方】
市内障がい児者福祉団体代表者等（令和元年度は15団体31名）

2. 令和2年度福祉施策アンケート

- 1) 回答内容 ア、障がい福祉に関する提案・要望など。
今回も、実現性を重視して是非実現して欲しい提案・要望を各団体2つに絞らせてさせていただきますのでご了承下さい。
イ、NPO法人 れんきょうに対する要望。
- 2) 活用方法 ・令和2年度福祉施策懇談会にて懇談する。
各団体からの提案・要望を予め市に提出し市の回答を事前に入手する。なお、福祉施策懇談会は新型コロナウイルス感染禍状況によっては中止する場合があります。
- 3) 日 程 ア、アンケート依頼公簡発送・・・・・・・・・・10月2日（金）
イ、アンケート回答期限・・・・・・・・・・10月23日（金）
ウ、各団体に市の見解記入済
アンケート結果を送付 ・ 1月下旬
エ、福祉施策懇談会中止の場合、
各団体出席者に連絡・・・・・・1月下旬
オ、令和2年度福祉施策懇談会・・・・・・・・・・2月7日（日）

《初めまして》

天命会 会長 秋山 勝美

私の病名は脳性麻痺です。

1970年に厚木市で生まれ育ち「小・中学校は地域の学校で通い、高校は養護学校(支援学校)で学んで」、18歳で1度目の一般就労を厚木市内で3年9カ月で、身体を壊して退職をして、ハローワークに、1年半通い2度目の就労で 相模原市の会社に就職してその会社で約十年間働いていました。

働き始めは、会社の寮に四年半くらいいて寮が閉鎖になったので、家からの通勤にしてから、二年くらいたったころ、祖父が痴呆症に罹り父から「お前の方まで手が回らないから家から出ていけ」と、言われ僕はハイ判った！

今はもう無くなってしまっていますが「ケア付き住宅シャローム」に、入所をして(自分自身でどこまで出来てどこからが出来ないのかを確認をして)必要なサービスをどの様にすればよいのかをここで学び働きながら一年くらいで、一人暮らしをし始めてから数年後会社から解雇です！と言われ、このころから車椅子を、使う生活になり、地域活動支援センター「くえびこ」に通っています。

会社を辞める三年前くらいに高校の先輩に誘われて相模原市肢体不自由児者父母の会に入って各種催し物への参加をしてきました。その後、社会福祉協議会への協力をしています。

父母の会に入会して ある日、いきなり会長が自宅にみえて僕が「コーヒーか紅茶のどちらにします？」と尋ねたら「紅茶で」と言われたのでしばらくお待ちをと言い台所に行き紅茶を出したら会長が驚いていた。それはティーパックではなくティーポットだったからで、僕のもコーヒーメーカーで入れたものだったために、その後事あるごとに紅茶の話をされていた。

その後父母の会のバス旅行(日帰り・一泊旅行)にも何度か参加をした内の一回の一泊旅行の夜の事、3人部屋で会長ともう1人が温泉から戻ってきたら歩く人影を見て「歩けるのは2人だけであとは秋山は車椅子だから誰だ」と言い灯りをつけたら、僕が歩き回っていた。良い具合に緊張が抜けて歩く事が有ります、と言ったら「おーそうか」と会長が笑っていた。

それからだんだんとバス旅行への参加が少なくなる一方で、会長が参加が無理な時に代りに神奈川県肢体不自由児者父母の会の会長会議に出る事がたまに有り、それから暫くしてから相模原市障害児者福祉団体連絡協議会(れんきょう)理事会へも初めの何度かは会長代行でしたが父母の会の会長かられんきょうの理事に就任してくださいと言われ、ハイと返事をして今に至っています。そして銀河アリーナの売店の店長になり、また、父母の会の副会長に任命され、会が続く間はガンバルゾ！と思いました。

それで話が20年くらい戻りますが「くえびこ」で車椅子ペタンクの講習会の誘いが「光が丘地区社協」の方からの要請が有り「くえびこ」の皆と共に参加をし、僕は楽しかったのでその後「相模原市ペタンク協会」に入会をし市の中の各地域のチームと大会が年に数回開催されていてその中の二大会だけに参戦出来ています。(対戦は大変楽しいです。)

それで、父母の会の話に戻りますが、平成31年に会長が御逝去されて、3月31日をもって相模原市肢体不自由児者父母の会の解散をいきなり告げられて、僕は「反対をしたのだけれど」全然聞いてもらえずに解散が決まってしまうました。

解散を告げられる2週間くらい前から会長が夢に出てきてそれが怒っている顔をして毎晩見ている、告知の3日前に心に決めたその夜の顔はにこやかで、その後出て来なくなりました。ですが、ことごとく提案を却下されてしまい50年近く続いた会の解散を止められず「悔しいのと情けないのとで」自分が許せなかった。

なんとかして会長の思いは遺さなければと新しく「天命会」を立ち上げて今に至っています。

《れんきょうの活動への思い》

相模原市自閉症児・者親の会（やまびこ会）

会長 清水 美代子

NPO れんきょうの皆様におかれましては、日頃より活動では大変お世話になっております。市民の皆様への正しい障がい等の理解を深める情報発信活動に真摯に取り組まれていることに深く感謝いたします。多くの皆様に障がいの理解をしていただくことは、大変困難なことです。障がいの症状や特徴など一般的なこととしてはわかっていただいても、その方々の不自由さについての理解はさらに困難な課題だと思えます。それは所属団体同士でも同じです。そんな状況ですが、毎年開かれる「福祉政策懇談会」に参加させていただくことで、諸団体の要望を伺うことが出来、困りごとの内容を通じて、ご本人、ご家族らの生活をする上での不自由さを知ることができます。市の対応についても知ることが出来ます。大変貴重で中身の濃い懇談会だと思っています。欲しい情報は簡単に手に入る世の中ですが、福祉政策懇談会でのご意見、ご要望は、私の中での他の障害理解には何より貴重です。これからの自分の所属団体の活動でも会員と共有すべきことが山積みの情報を得ています。所属団体数の減少、高齢化、そしてコロナウイルス対策等々、活動をする上での問題も多々ありますが、一つ一つ丁寧に対応していかれるのが、れんきょうの持ち味です!所属団体、関係機関と連携して確実に一步一步進んで行ってください。

《「さーくる」アクセス状況報告》

最近のアクセス状況を下表のとおりご報告します。

	R2年					
	3月	4月	5月	6月	7月	8月
訪問回数（回）	3045	1866	2547	4123	4905	3972
訪問人数（人）	2735	1654	2289	3600	4368	3601
見られたコンテンツ（件）	4890	3360	4410	7018	8354	6415
初めて訪問する人の率（%）	86.1	84.1	86.1	84.6	86.5	88.1

<コメント>

コロナウイルス感染症の拡大防止の為、8月のイベントも無く、さーくるにもあまり掲載するイベント等がありません。しかし、オリンピック・パラリンピック1年前イベント等、パラスポーツの参加申し込み等増えてきているので、是非チェックしてみてください。

さーくる 障害理解

検索

《さがみはら自民党、公明党相模原総支部

への令和2年度要望事項》

今年度は新型コロナウイルス禍状況につき、対面での申入れでなく書面による申入れを行いました。

NPO 法人れんきょうから両党への要望申入れ事項

1、車いす利用者や重度障がい者が同じ目線で話が出来、悩みの相談が出来る仲間の集まりに利用できるあじさい号の運行が、土曜日の午後及日曜日は運行がストップに（利用出来なく）なっています。土、日曜日の行事が多いので、友人等のリフト式車に相乗りも可能ですが、その際の駐車場の無料化などを考えていただきたい。

2、神奈中バスの料金割引を精神障がい者にも適用していただきたい。

三障がい同一の割引制度の実施を早期にお願いいたします

3、重度障害者医療費助成制度の現行継続をお願いいたします。

既に地域医療課より、現制度を持続可能なものとする為に必要な取り組みを行っているとの回答をいただいておりますが、障がいの種類によっては、医療を受けることが必然となっている方も多々いる状況ですので、重ねてお願い致します。

4、障害者差別解消推進条例の制定を早期に実現していただきたい。

市は現在、人権条例を検討していると側聞するが、障害者差別解消推進条例は人権条例とは別のものとし独立したものとして制定して頂きたい。

理由は差別解消推進条例は合理的配慮を提供する場面について具体的に例示する必要がある。例えば生活支援に関する合理的配慮、生活環境に関する合理的配慮、防災に関する合理的配慮、雇用及び就労に関する合理的配慮、保健及び医療に関する合理的配慮、芸術文化及びスポーツに関する合理的配慮。

そしてそのほかに周知啓発、市の責務、差別の事後対策、会議体設置など幅広い分野についてを盛り込む必要がある。

加えて、市民に対して市の差別解消推進に取り組む市の姿勢を示す意味でも独立したものとすべきと考える。

5、障がいの早期発見、早期療育の観点から、3歳児検診後の入学時検診、その後の児

童を対象とする市の関係する定期検診に於いて、精神科医の同席を希望します。

ASD（自閉症スペクトラム）ADHD（注意欠陥・多動性障害）、LD（学習障害）等の発達障害が疑われる児童の検診は、早期になされる確かな支援を受ける事で、本人の将来に大きく影響を及ぼします。

6、聴覚障害者支援相談員を設置してください。

（緑・中央・南）高齢・障害者相談課、市民相談、基幹相談支援センターなど多くの相談窓口はありますが、聴覚障害に関する知識を有し、聴覚障害者支援に精通した窓口はありません。聴覚障害者は意思疎通に困難を伴うことが多く、特に、微妙な思いや悩みを伝え、やりとりをする必要のある相談

場面においてはなおさらです。さらに、問題そのものが聴覚障害に起因していることも少なくありません。

聴覚障害の特性を理解し、聴覚障害者が安心してコミュニケーションをとることができる相談員の設置に向けて働きかけてください。

7. 透析患者のタクシー券の金額増額（市）

予てよりお願いしていたタクシー券の金額増額について先の市の障害福祉施策見直し検討会議において、増額の必要性についてご理解いただいたと認識していますが早期の実行をお願いします。その増額検討に当たっては、横浜市、川崎市の事例（両市ともに一般障がい者支給額の倍額の年間84,000円）を参考にして頂きたい。

8. CKD（慢性腎臓病）の予防・重症化防止に向けた啓発活動（市）

透析患者を増やさないことにより多額の医療費の発生を抑制する為にも慢性腎臓病（CKD）及び透析患者の原疾患の一つである糖尿病の予防・重症化防止に向けた啓発活動の拡充に配慮ください。相模原市腎友会は、市の健康増進課のご協力を得て、毎年の健康フェスタの中で「腎臓病のお話と相談会」を行っていますが市として更なる取り組みをお願いします。

9. 大災害時の透析患者の通院手段の確保

さる平成27年7月に開催の市と相模原市腎友会との「第6回透析者の災害対策情報交換会」において、大災害時の透析患者の通院支援については、発災時すぐには公助は難しく、自助、共助に頼るところが大きいとの回答でした。そういう中で、お願いは、透析患者の移送を大きく担っている福祉有償運送車両並びに透析施設の患者移送車両について「災害時緊急車両」としての許可を得られるよう配慮願いたい。

以上

《けやき体育館主催の折り鶴プロジェクトに

NPO 法人れんきょうも参加》

けやき体育館ではこの度「みんなで作ろう！おりづるプロジェクト」を展開しまして、市内の各団体、施設、個人の方々等から約20万羽の折り鶴が集まり、次に集まった折り鶴で壁画を作ろうと第二弾のプロジェクトチームを作って、この度見事な作品をけやき体育館で展示お披露目を行いました。このプロジェクトにはNPO 法人れんきょうからも参加させていただきました。また加盟団体の失語症友の会も一緒に参加されております。



第13回 相模原市自閉症児・者親の会（やまびこ会）作品展

（今回は新型コロナウイルス対策のため、展示会は開催せずインターネット配信と致します）

日 時：令和2年11月1日（日）～11月15日（日） 12：00～22：00

主 催：神奈川県自閉症協会

共 催：相模原市自閉症児・者親の会（相模原やまびこ会）

問合せ先：相模原やまびこ会



さがみハート展

日 時：令和2年11月26日（木）～11月30日（月） 10：00～17：00
（初日13：00から 最終日15：00まで）

会 場：相模原市民ギャラリー

【ご来館される皆様へのお願い】

ご来館の際には、マスクの着用をお願いいたします。発熱等の症状がある方は来館をご遠慮ください。
混雑時にはお待ちいただく事がございます。

第7回新成人を祝う会

日 時：令和3年1月17日（日曜日）

会 場：けやき会館5階 大樹の間

対 象 者：相模原市在住及び在勤等の障がいのある新成人の方

（平成12年4月2日～平成13年4月1日生まれの方）

参 加 費：無料

注：新成人の定員は50名とし、定員を超える場合は抽選とさせていただきます。

申し込み期間：9月1日（火曜日）～10月31日（土曜日）

今年度は感染症予防対策のため、様々なご連絡があります。

詳しくは、事務局までお問い合わせ下さい。

電話・ファクス 042-759-4310（平日午前9時～午後5時）

《事務局たより》

《令和元年度冬季受託事業

(うどん・チャンポン皿うどんセット) 開始案内》

夏のそうめん販売へのご協力ありがとうございました。お陰様で本年も成果を出すことが出来ました。

また、11月2日より下記の冬期受託販売を開始いたしますので、今年度も絶大なるご協力をお願いいたします。

例年通り下記の商品を取り揃えております。お歳暮等にご利用ください。皆様のご購入をお待ちいたしております。

① チャンポン・皿うどん詰合せ N-1 (化粧箱入り) 標準小売価格 2,916 円 ➡ 2,200 円

(長崎ちゃんぽん麺 100g × 4 袋、スープ 4 袋 長崎皿うどん麺 60g × 4 袋、スープ 4 袋)

② 島原のれん (VS-45) (化粧箱入り) 標準小売価格 4,860 円 ➡ 2,900 円

※販売期間：令和2年11月2日～令和3年1月31日

チャンポン皿うどんセットの受注は12月10日で打ち切りさせていただきます。

※販売場所：商品お渡し場所 あじさい会館内4階 NPO 法人れんきょう事務所

※販売時間：午前10:00～午後4:00 (月曜日～金曜日)

※お問合せ：NPO 法人れんきょう事務所まで。電話 042-755-5282

③ 全粒粉そうめん「島原小町」の個数限定の特別販売について

今年度に限り全粒粉そうめんを個数限定で特別販売いたします。全粒粉そうめん「島原小町」は「あったかい麺」としても美味しく召し上がっていただける商品です。全粒粉の風味と、独特の食感をお楽しみいただけます。1箱 50g × 18束 ¥2,400 円です。

《新車紹介セールご協力のお願い》

(株) クライム エヌシーデー様への新車購入紹介セールのお知らせ

対象車種：乗用車、ライトバン、RV、トラック

対象メーカー：日産、トヨタ、ホンダ、マツダ、三菱

新車購入の成約前に必ず NPO 法人れんきょう事務所まで連絡をお願いいたします。

❖ ご協力いただいた方には、協力手数料をお支払いいたします。

詳細は NPO 法人れんきょう事務所まで (042-755-5282)